

郡上で働く・ 郡上で暮らす



郡上市では、少子化・高齢化による人口減少に加え、労働力人口の減少という課題に直面しています。こうした課題に対し、市では様々な政策を実施しています。

今月号では、今年5月に開所した「郡上市産業支援センター」の取り組みや、市が地方創生のプロジェクトとして実施している「郡上カンパニー」事業などについて紹介するとともに、市内で「働く価値」を広げるための連携強化について特集します。

ネットワークを生かした 「ワンストップ」の窓口

今年4月2日から、郡上市産業支援センター（以下「支援センター」）が業務を開始しています。支援センターは、3月に完成した郡上市産業プラザの1階に事務所を置き、市内での起業や事業承継、新商品の開発、販路拡大、人材確保など「郡上で働く」ことについて、総合的なサポートを行っています。新規就業希望者、小規模事業者、中小企業に向けた各種支援についても、ネットワークを生かして積極的に推進しています。

支援センターは、商工会や金融機関など15の団体が構成され、12の協力団体を擁しています。こうした体制により、様々な相談に「ワンストップ」で応じることができま。支援センターのマネージャーを務める齋藤元昭さんは、「資金調達や市の支援制度、空き家の店舗活用などの話を1箇所ですべてできるの、相談者からはたいへん喜ばれています。」と、支援センターの役割を強調されました。

高校生に市内企業の魅力を伝える「未来塾」

市内企業では、労働力人口の減少が進む中で、将来の人手不

足、人材不足を懸念されています。こうした時代だからこそ、地域の将来の担い手となる中学生や高校生に「仕事」について考えてもらうことや、市内にある企業の魅力を伝えていくことが大切になります。

郡上市雇用対策協議会では、優秀な人材の市外への流出を防ぐとともに、市内における働き手を確保するため、地元高校生やUIJターンを希望する学生を中心に、市内企業のPRや地元就職に向けての支援・啓発活動を行っています。毎年春には、市内の高校において翌年の就職を希望する3年生を対象とした「未来塾」を開催しています。

「未来塾」は、高校生が地元の様々な産業について理解を深めながら、キャリアアップの必要性について学ぶ機会になっています。参加した高校生からは、「郡上で働くことのイメージが変わりました。」「市内の企業の仕事に関心を持ちました。」などの声が聞かれました。

地域の資源で新しい仕事を つくる「郡上カンパニー」

郡上版のローカルベンチャースクールである「郡上カンパニー」は、4月から第1期生のプロジェクトがスタートしました。ローカルベンチャーとは、

で起業を目指すみなさん（○印は起業のために移住して取り組む事業パートナー）



どぶろくの新ブランド立ち上げ
【○小野木淳さん、吉田雄輔さん】



アプリ開発、IoT人材育成
【○宮崎倫明さん、赤塚良成さん】



郡上の自然で衣を生み出す
【平野馨生里さん、○諏訪裕美さん】



獣害に悩む集落をITで支援
【○天野美穂さん、興膳健太さん】

郡上市はワンストップと連携で 「働く・暮らす」をサポートしています！

郡上市産業支援センター

郡上市産業支援センターのワンストップの無料相談窓口には、4月2日の事業開始から6月下旬までに起業や経営等に関して述べ76件の相談が寄せられ、43人のみなさんが窓口を訪れています。月平均20件の相談に応じており、予想を上回る状況が続いています。

今年度は、センターのPRに力を入れるとともに、現在大きな課題となっている「人材不足」や、事業承継に向けた取り組みをはじめ、子どもたちにリーダーシップやコミュニケーションスキルを身に付けることを目的とした中学校との連携による職場体験などを実施する予定です。



企業の相談に産業プラザ入居団体の連携で対応しています。

(一社)郡上・ふるさと定住機構

(一社)郡上・ふるさと定住機構は、郡上市への移住者やUターン者らが市に定着し、地域とつながりながら誇りを持って暮らし続けられるよう、民間が主体となって立ち上げられた組織です。今年4月に設立総会が開かれ、10年間にわたって活動してきた「郡上市交流・移住推進協議会」の事業を引き継ぐとともに、「郡上カンパニー」のプロジェクトなど市から委託を受けて実施しています。スタッフは4名で、郡上市産業プラザの4階に事務所を置いています。若者や子育て世代の地方への関心が高まる中、精力的に活動を展開しています。



(一社)郡上・ふるさと定住機構のみなさん

地域にあるモノ(資源)に注目し、これらを上手に生かし、新たな価値を持ったビジネスをつくることを意味しています。このことに、郡上らしい「学び」の要素を入れた取り組みが「郡上カンパニー」になります。今年度は第1期生のプロジェクト支援を行うほか、次年度の起業プロジェクトの選考に向け、市内各所での説明会の他、東京と

郡上で行う全5回の「共創ワークショップ」などを実施しているところ。郡上カンパニーの取り組みに関心を持たれ、4月から郡上市に移住して(一社)郡上・ふるさと定住機構で郡上カンパニーの事務局として事業推進にあたる田所真生子さんは、「郡上カンパニーは『根っこのある生きかたをつくる。』をコン

セプトとしています。郡上はそれを可能にする人・文化・自然がとても豊かな場所だと思えます。郡上流・郡上発の事業をつくり育てていくことが、未来づくりにつながるかと期待しています。」と、今後の事業展開に注目されています。

市内で「働く価値」を広げるための連携強化

市では、郡上市市民協働センターと連携して行う「郡上市まちづくりフェスティバル」の中で、平成26年度から中高生の様々な事業提案を募集し、優秀な提案を表彰しています。そして、提案が実際の活動につながるよう支援も行っています。こうした活動は、起業に向け

た意識の高まりや、郡上の担い手を育てる人づくりに結びつきます。「何もないところから何かを生み出す力」や「自ら考え行動できるスキル」を身に付けることは、郡上市の将来を築く礎になります。郡上という土地に根ざして暮らすこと、そして、市内で「働く価値」を広げ起業や事業承継、地元企業への就職を増やしていくためには、支援センターをはじめ、郡上市商工会や郡上市雇用対策協議会、(一社)郡上・ふるさと定住機構などの関係団体がより一層の連携を強化していく必要があります。市も一体となって事業推進に努めていきます。



郡上北高等学校で開催された「未来塾」。市内事業者と討論をしながら企業の魅力を学びました。

「郡上カンパニー (6月末時点)」



水の魅力を水出しコーヒーで発信
【小澤陽祐さん、○大野海香さん】



職人の技術伝承と家づくり
【○池野主水さん、松業和道さん】